



県政報告 県政を身近に

埼玉県議会議員

武内まさふみ

令和2年
2020
冬季号

Vol.34

【発行】
埼玉県議会 自由民主党議員団

ご挨拶

令和に入り、初めての新年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

昨年は、台風の上陸が相次ぎ、特に台風第19号により未曾有の被害をもたらした「災害の年」になりました。一日も早い復興を進めるため、議会としても復旧工事のスピードアップを促してまいります。

今年は、いよいよ東京2020オリンピック・パラリンピックが開催される「スポーツの年」です。本県においては4会場で開催されます。この世界的なイベントが、スポーツ、健康、観光、産業など様々な分野で、明るい地域をつくる契機となることを期待しています。

令和元年12月定例県議会 (令和元年12月2日～12月20日)

台風第19号による被害の復旧経費を中心とした補正予算

今回の補正予算は、昨年10月12日から13日にかけての台風第19号による災害の復旧に係る経費への対応と、東京2020オリンピック・パラリンピックの観戦機会の提供など、当面緊急に対応が必要な事業を計上しました。

一般会計 231億3,976万7千円

特別会計 (災害救助事業ほか2会計)
15億8,283万4千円

企業会計 (地域整備事業)
13億968万7千円

【主な内容 (一般会計)】

● **台風第19号により被害を受けた方への支援**
中小企業や農家、社会福祉施設等に対する支援 約41億円

災害救助法に基づく被災住宅の応急修理経費の負担 (災害救助事業特別会計) 12億5千万円

台風被害の影響を受けた観光業に対する宿泊促進のための補助 9,527万円

● 公共施設等の災害復旧

道路、河川、砂防、公園 122億5,920万円

農業用施設、森林管理道等 62億1,573万円

交通安全施設、社会教育施設等 4億6,029万円

* 毛呂山町、越生町、鳩山町における災害復旧対象箇所は、裏面に掲載しました。

東京2020オリンピック・パラリンピックの観戦機会の提供

県が東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会とチケットを確保する契約を結ぶため、2億5,503万円の債務負担行為を設定しました。

これは、県内の学校の児童、生徒や地域団体、ホストタウン用に99,635枚の観戦チケットを確保するものです。

* 債務負担行為：2年度以上にまたがる事業を行う際、契約締結により将来発生する負担の期間と限度額を決めること。

決算特別委員会の審査終了 平成30年度決算認定される

9月定例会に提案された平成30年度の一般会計、特別会計、公営企業会計決算が認定されました。9月定例会以降、決算特別委員会 (武内県議が委員) で閉会中に審査を行い、12月議会に認定の審査結果が報告され、本会議で承認されました。

■ 決算特別委員会の開催日程

10月28日、29日 (視察)、30日、11月1日、6日、8日、11日、13日、15日

視察先：
旧騎西高校跡地を活用したSFAの運営によるフットボールセンター (加須市)



武内県議一般質問に立つ



一般質問では、9月定例会において知事が提出を約束し、11月末に発表された工程表をめぐり、知事公約の実現性について様々な

質疑が行われました。武内県議は、12月6日、一般質問初日のトップバッターに自民党議員団の代表として登壇しました。

質問内容

① 知事公約と今後の施策展開

大野知事に対して、知事の経営理念や知事公約の工程表の内容・考え方を聞きました。

② 災害発生時における対応

台風第19号による越辺川におけるポンプ場の不適切な操作対応について、経緯と操作受託市の責任を質しました。

③ 職員の確保対策

県職員へのなり手不足と民間経験者の採用増について、県の対応方針を聞きました。

④ 急性中毒に対応可能な拠点施設の整備

県内の急性中毒患者の受け入れ態勢の強化のために、埼玉医科大学病院を県指定病院とすべきとの提案をしました。

⑤ 森林環境贈与税の在り方、住宅補助の充実

都市部に有利な森林環境贈与税のしくみの見直しとともに、県産木材を使った住宅補助予算の増額を提言しました。

⑥ 消防指令センターの広域共同運用

119番通報の全県共同運用の早期実現に取り組むよう提言しました。

「乳幼児医療費の窓口無料化」を自民党県議団が県に緊急要望

乳幼児医療費の助成については、全国の都道府県と県内全ての市町村が現物支給方式で窓口無料化を実施していますが、埼玉県だけが、現物給付方式を認めず償還払い方式を堅持しています。これにより、居住地以外で受診した場合や一定額以上の

医療費は窓口での立て替え払いを余儀なくされています。こうしたことから、平成30年6月定例会において「窓口無料化を求める決議」を行いました。県は一向に制度を改める様子がありませんでした。そこで、自民党県議団は、大野知事

に対して再度、乳幼児医療費助成制度の償還払い方式を現物支給方式に改め、県内全域での窓口無料化を実施するとともに、高額な医療費こそ立替払いがないように制度を構築することを強く要望しました。

台風第19号による被災個所の復旧事業(毛呂山町、越生町、鳩山町)

県道・河川関係(1,000万円以上の工事)

●飯能寄居線(毛呂山町葛貫) 法面復旧



飯能寄居線(毛呂山町葛貫地内)

●大谷木川(毛呂山町長瀬) 護岸工
●越辺川(毛呂山町前久保) 根固め工
●越辺川(越生町3か所) 護岸工、根固め工



越辺川(山吹大橋付近・越生町西和田地内)

●柳田川(越生町上野) 護岸工、土砂流木撤去
●龍ヶ谷川(越生町龍ヶ谷) 護岸工

農地・農業用施設

〈農地〉
●土砂堆積(毛呂山町西戸、苦林、岩井、箕和田)
〈農業用施設〉
●水路損傷(毛呂山町西戸)
●農道路肩崩壊(毛呂山町西戸、岩井)
●水路土砂堆積(毛呂山町西戸)
●頭首工取水口損傷(毛呂山町苦林)
●頭首工堰損傷(毛呂山町岩井)

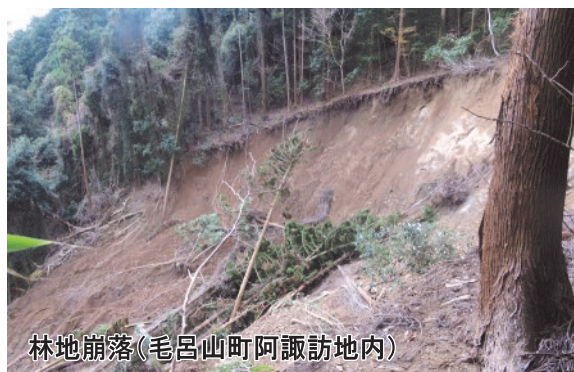


越辺川(毛呂山町岩井地内)

●頭首工護岸損傷(毛呂山町平山)
●水路フェンス倒壊(毛呂山町苦林)
●頭首工操作盤水損(越生町津久根)
●頭首工堰損傷(越生町西和田)
●水路損傷(越生町大谷)
●ため池漏水(鳩山町須江)

治山・森林管理道

●林地 溪間工(毛呂山町阿諏訪)



林地崩落(毛呂山町阿諏訪地内)

●森林管理道 路体・路肩崩落(越生町龍ヶ谷、麦原、上谷)



森林管理道楠線(越生町上谷地内)

武内まさふみの活動日誌

臨時県議会(10月31日)
～豚コレラ対策と台風被害対策のための補正予算の承認～
〈一般会計補正予算〉
4,395万3千円
●予防的ワクチンの接種
●台風19号で被害を受けた中小企業、農家への融資枠の拡大

視察

■産業労働企業委員会 (11月19日)
●(株)ビコー(毛呂山町)
人出不足や人件費の増加に対応するため、遠隔監視可能な業務用清掃ロボットシステムを埼玉大学と共同で開発し、システムの導入促進を積極的に進めています。将来的には、農業分野などへの応用も考えています。



▲清掃ロボットのデモンストレーション

●メッツァ(飯能市)
メッツァは、(株)ムーミン物語が、宮沢湖畔に整備した無料エリア「メッツァビレッジ」とテーマパーク「ムーミンバレーパーク」全体の総称です。今年3月、「ムーミンバレーパーク」がオープンしました。市は地域の関係団体との連携によりメッツァを中心とした観光振興を図っています。



▲ムーミンバレーパークの園内

議会閉会中の活動

●新飯能寄居線建設期成同盟会総会
飯能寄居バイパスが平成30年12月に全線開通したことに伴い、同期成同盟会を解散することに決まりました。(10月23日)
●台風第19号による越辺川などの被災個所の視察
自民党県議団では、県内に甚大な被害を生じさせた台風第19号による被災状況を調査すべく、被災現場を視察しました。この視察には知事も参加しました。今回は、越辺川決壊箇所、坂戸市新ヶ谷地区、都幾川「くらかけ清流の郷」を視察しました。(11月9日)



▲自民党県議団の一員として越辺川の被災箇所を視察

林業対策協議会による知事への要望

秩父、児玉、西川林業組合、市町村長、県議会議員で構成される協議会が、知事に対して林業振興への支援を要望しました。(11月18日)



西武ライオンズが県議会議長へ表敬訪問

2019パシフィック・リーグ優勝の報告のために、西武ライオンズの居郷(いこう)代表取締役社長、辻監督、立木取締役が県議会を訪れました。(12月5日)

